

令和5年度学校評価 (2学期・評価)

鹿児島市立花尾小学校

- 1 学校の教育課題 ○確かな学力の向上 ○豊かな心の育成 ○体力向上と保健・安全意識の向上
○特色ある開かれた学校づくりの推進 ○教職員の資質向上

4：よく実践され効果も出ている 3：実践されている 2：実践されているが効果が出ていない 1：実践が十分でない

重点目標	評価項目	評価			成果や課題
		2学期	1学期	差	
確かな学力の向上	1 児童に、各学年の発達段階に応じたガイド学習の進め方が定着している。	3.00	2.50	0.5	○ 全職員で共通実践を図ることで、児童の指導が十分行うことができた。 ○ 放課後の時間は教材研究を行う時間が確保され有り難い。 1-○粘り強く指導を続けて、少しずつ定着している。 2-○授業の流れを視認できるようにすることで、見通しをもって授業に参加できつつある。 6-○ICTを活用して、授業の幅が広がった。これからも活用方法を模索していきたい。 7-○児童の実態に合わせて、家庭学習に取り組ませることができた。 16・19-○子供たちの健康のために保健室からいろいろなことを発信して実践して下さり、とてもありがたい。 24-○全校体制で職員研修に取り組むことができ、各学級で研究授業を実施して研修を深めることができた。課題や成果を今後に生かしていきたい。 ● 出張、提出物等がとても多い。精選する必要がある。 ● 陸上記録会、音楽会等休憩も取れない行事は再考する必要がある。陸上記録会は、役員が時間外に相当話し合いを行っていた。 11-●ちくちく言葉がまだまだ目立つので、根気強く指導していきたい。 12-●雨の日のボランティアについては、自分たちで探せるように引き続き声掛けしていく。 13-●「うちどくカード」を少し早めに先生方へ渡せるよう気を付けたい。 25-●黙々作業を私自身も気を付けたい。
	2 児童は、問題に気付き、見通しをもって課題に取り組んでいる。	3.00	3.00	0.0	
	3 児童は、自ら学びを調整しながら、粘り強く問題解決に取り組んでいる。	3.00	2.75	0.3	
	4 児童は、学びを振り返り、次の課題に生かそうとしている。	3.00	2.50	0.5	
	5 児童は、学習チャレンジタイム等によって、基礎的・基本的内容が身に付いている。(鹿児島県チャレンジ、アシストシート等)	3.00	2.75	0.3	
	6 児童は、ICTを探究や課題解決に活用している。	3.33	2.75	0.6	
	7 児童は、家庭学習の習慣が身に付いている。	3.00	2.75	0.3	
豊かな心の育成	8 生活指導における共通理解事項と花尾のよい子を、児童にきちんと指導し共通実践する。	3.00	3.00	0.00	
	9 児童の言動に気を配り、いじめ等の諸問題を、全職員で共通理解する。	3.20	3.20	0.0	
	10 道徳の授業を充実させ、豊かな心の育成に努める。	3.00	2.75	0.3	
	11 人権同和教育の視点に立った授業・学級経営を推進する。(児童全員のよさを見つけ、職員室や朝・帰りの会等で共有する。(うれしいポスト活用))	2.67	2.75	-0.1	
	12 環境ISO活動やボランティア活動、青少年赤十字活動を積極的に推進する。	3.00	3.00	0.0	
	13 毎月23日のうちどく(花尾読書の日)に取り組む。	3.50	3.20	0.3	
保健安全意識の向上	14 一学校一運動「一輪車名人になろう」に取り組む。(チャレンジかごしま活用)	3.60	4.00	-0.4	
	15 仲よし体育や授業で持久力や敏捷性の向上に取り組む。	3.00	3.00	0.0	
	16 健康タイムや健康教室を工夫し、疾病予防や早期治療に取り組む。	3.40	3.00	0.4	
	17 早寝・早起き・朝ご飯習慣化に取り組む。	3.00	3.00	0.0	
	18 給食指導の充実を努める(食物アレルギー・偏食・マナー等)	3.40	3.25	0.2	
	19 給食後の歯みがき指導に取り組む。	3.40	3.20	0.2	
	20 月1回の安全点検と連動した補修状況を共有し安全指導を徹底する。	3.17	3.20	0.0	
特色ある学校開かれた	21 地域合同行事や文化財少年団、あいご会活動を通して保護者や地域住民と絆を強める。	3.17	4.00	-0.8	
	22 地域人材を活用して郷土を学ぶ探究学習(総合的な学習の時間・創意の時間)に取り組む。	3.25	3.60	-0.4	
	23 教児同行で清掃活動や花作りを行い美しい学校づくりを行う。	2.50	3.00	-0.5	
	24 教職員の資質及び指導力向上を目指した職員研修に取り組む。	3.25	3.20	0.0	
	25 黙々作業100%をめざす。(「一学校一改革」)	2.33	2.33	0.0	
	26 服務規律の厳正確保業務改善に取り組む。	3.50	3.17	0.3	
	27 業務改善に取り組む、良い事例を共有する。	3.00	3.00	0.0	

考察及び改善方策

- (1) 主体的に学ぶ児童の育成を目指し、研究授業を通して研究を深められた。授業改善のポイントとなるものが出されたので整理して、3学期に活用する。
- (2) 様々な取組で保健面での意識が高まっている。児童の様子を把握しながら、指導を継続していく。
- (3) 黙々作業や言葉遣い、廊下歩行などの課題がある。児童自身が自分事として主体的に課題解決に向かえるよう指導していく。